

平成11(1999)年9月24日 豊橋市で発生した竜巻

概況

強い台風第18号は平成11年9月24日06時に熊本県北部に上陸し、その後山口県から日本海へ進んだ。県内はこの台風が日本海を北東へ進んでいた24日昼前から昼過ぎにかけて、台風に伴うアウターバンド(台風に巻き込む発達した積乱雲を含む対流雲列)が愛知県にかかり、県内で4個の竜巻を発生させた。竜巻は11時過ぎから13時の間に豊橋市、宝飯郡小坂井町から豊川市、蒲郡市、海部郡弥富町を中心に4個の竜巻が発生し、人的、物的に大きな被害をもたらした。

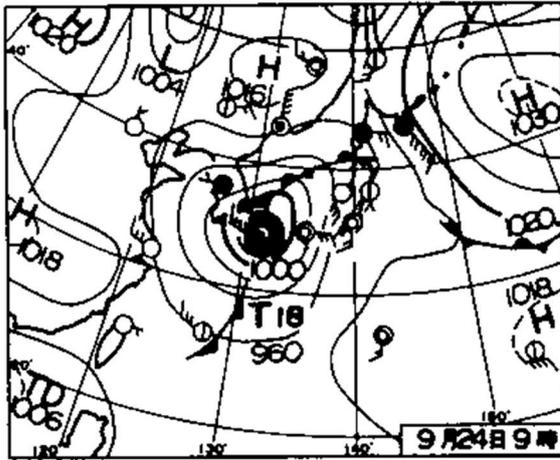
その内、最大の竜巻は豊橋市で発生したもので、竜巻は11時05分頃、豊橋市野依町(のよりちょう)付近で発生した。竜巻は市街地に大きな被害を与えながら北北東に進み、11時18分頃には豊橋市役所東側を通過した。11時21分には豊川市との境界付近に達し、勢力を弱めながら進路を若干東よりに変えて進み豊川市に入った。11時28分には東名高速道路豊川インターチェンジの東側を通過、11時30分頃には宝飯郡一宮町長山まで達して消滅した。竜巻の移動距離は約19km、移動速度は約45km/h、回転方向は左回りであった。被害の幅は最大550mであった。竜巻の規模は、車が約5m持ち上げられていること、住宅の全壊が多数に及んだこと、電柱が多数倒れていることなどの状況から、藤田スケールで「F3」と推定された。

藤田スケールF3 (階級Fは1~5まで分類されており、F5が一番強い)

70~92m/s(約5秒間の平均風速)。壁が押し倒され住家が倒壊する。非住家はバラバラになって飛散し、鉄骨づくりでもつぶれる。汽車は転覆し、自動車が持ち上げられて吹き飛ばされる。森林の大木でも、大半が折れるか倒れるかし、また引き抜かれることもある。

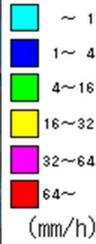
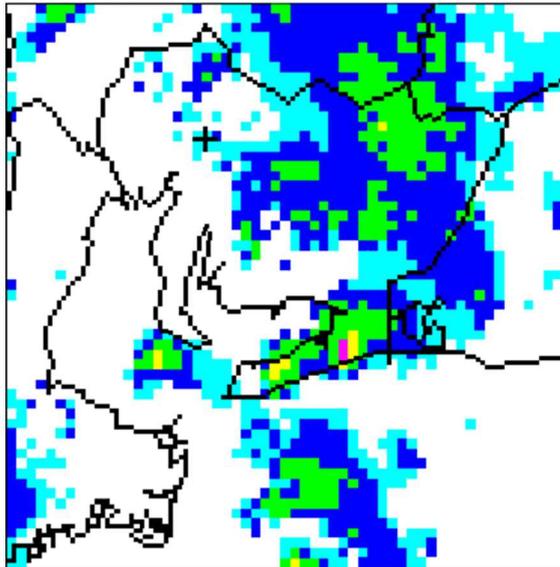
「竜巻による」愛知県被害状況 (愛知県:災害の記録、災害別被害状況から)

人的被害	死者(人)	0	住家被害	全壊(棟)	41
	負傷者・重傷(人)	17		半壊(戸)	311
	負傷者・軽傷(人)	436		一部破損(戸)	2,344
その他	停電(戸)	9,700		非住家(棟)	410
	電柱の傾斜(本)	510			
	ビニールハウス・ガラス温室 破損(件)	460			



地上天気図 (平成11年9月24日09時)

西部東海 Radup97 強度
1999/09/24 11:10 Mode-3



豊橋市内で竜巻発生直後のレーダー合成図 (平成11年9月24日11時10分)



豊橋市内を移動する竜巻 (平成11年9月24日)

竜巻は市街地に大きな被害を与えながら北北東へ進んだ。

(豊橋市中消防署からの撮影: 豊橋市役所提供)